



たばたあずみ

Tel・Fax 550-6674



山根とみえ

Tel・Fax 550-4224



戸沢ひろゆき

Tel・Fax 558-9721

9月市議会

戸沢ひろゆき議員の一般質問

日本共産党の戸沢ひろゆき議員は、9月市議会の一般質問で ①秋川駅自由通路にエレベーターの設置を ②就学援助制度の活用について ③いきいき元気な高齢者の施策充実について質問しました。

秋川駅のバリアフリーについて

秋川駅自由通路の階段が長く、バリアフリー法(高齢者の移動等円滑化の促進に関する法律)からも前回の質問に続き、早く基本計画をつくり国土交通省に申請するよう求めました。

市側はその必要性を認め、南口には計画できる用地があるが、北口トイレ横には防火施設があるため、今後も検討したいと回答。戸沢議員は、今の設計技術からは可能だ、基本計画を国土交通省になるべく早く提出し、予算要望をするよう求めました。



高齢者にとって階段は大変だ!!!

就学援助制度の活用について

家計から支出する子どもの教育費が増えているため、若い子育て夫婦にとっては、子どもを産み家族を増やし、明るく豊かに暮らすことに展望が持てない経済環境にあります。

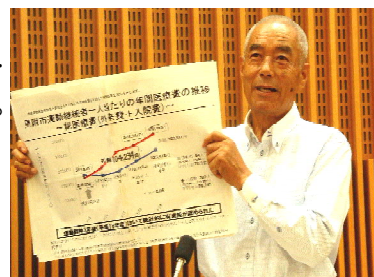
憲法第26条第1項、学校教育法の立場に立って、当面、教育費の一部を救済することができる制度である就学援助を受けられやすくするため周知を徹底し、手続きが気軽に受けられる環境が求められています。また我が市は、支給の対象数値が生活保護2級地のため、近隣自治体と比べて援助が低く一層の充実が求められているとして、教育部長に、利用の実態と対応について問いました。

教育部長は23年度において小学生が663人、中学生が403人、合計1066人が認定されており、比率は15.33%。制度の周知に努めており、給食費の納付相談があった時や市外からの転入の際など制度の説明をしていると回答。

戸沢議員から、前年度の収入により認定するものなので、年度途中からでもさかのぼって給付できるよう改善すべきだと提案。憲法で義務教育は無償としており、経済的困難な児童も差別なく楽しく教育できる環境を求めると主張しました。

いきいき元気な高齢者施策を

厚生科学審議会の部会で、平均寿命は平成22年度では、男79.64歳、女性86.39歳と推計。生活の自立した健康寿命が、男性が70.42歳、女性が73.62歳(平成22年)だとする算出結果が提示されました。「健康寿命」との差は、男9.22年、女12.77年であり、平均寿命と健康寿命との差が、日常生活に制限のある不健康な期間です。再質問で、新潟県見附市の取り組んでいる健康施策の取り組みでは、医療費が減り健康寿命が伸びている実例を報告し、市行政の施策展開を強く求め次の質問をしました。



健康で過ごせれば医療費が年間10万円も違うとグラフで説明

- ① 「いきいきセンター」の冬季三ヶ月の運営休止はやめて、年間を通して健康維持、健康復活のため「行政改革」の対象から外すよう求めました。
- ② 地域活動として取り組んでいる「いきいき元気づくり事業」に、市はもっと力をいれ取り組むことを求めました。
- ③ 介護保険の要支援1・2、及び健康なお年寄りを家庭で一人ぼっちにしない各種施策を一層充実させるよう求めたいと質問しました。

市は、健康づくり市民推進委員、民生委員、ふれあい福祉委員などの協力をえて49団体年間6779人の参加を得て取り組んでいる、今後は医師会の協力を得て「医師からの講話」など行いたいとした一方で、いきいきセンターについては屋内プールが3カ所あるため、冬季運休と時間の短縮をした、五日市ファインプラザでリハビリ運動やいきいきスイミングを行っていくと回答しました。

法律相談

10月26日(金) 13時30分~15時

予約が必要です。市議団までご連絡ください。